



## 大学選抜（入試）制度について

入学者選抜の選抜形態は一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、特別選抜に大きく分けられるが、近年、選抜方法が多種多様化しているため、実際に各大学のホームページなどで調べる必要があります。

### ◇一般選抜

大学入学共通テストや大学独自の試験を受験して合否を決める選抜方法です。

#### ●国公立大学

「大学入学共通テスト」（今年度は1月14日（土）、15日（日））



自己採点 共通テストの次の日（月曜日）に高校で行う。



自己採点を基に、二次試験出願大学を決めます。

「大学独自の試験＝二次試験（個別試験）」

前期日程（2月25日）と後期日程を実施。

最近では後期日程を廃止し、前期日程のみ実施の大学が増加しています。

なお、一部の大学で中期日程を行っている大学もあります。



#### ●私立大学

様々な選抜方法があります。受験科目については各大学の学部学科の受験案内を調べてください。また、大学入学共通テスト利用選抜や共通テストと大学独自の試験を併用する選抜方法もあります。

### ◇学校推薦型選抜

学校長等の推薦に基づき、書類審査、面接、小論文などを中心に合否を決める選抜方法です。重要視されるのは、学習成績の状況はもちろん、出欠状況等の基本的な学校生活態度や特別活動の様子です。

#### ●指定校推薦

私立大や公立大の一部で行われており、大学が指定する高校に限り出願することができます。

#### ●公募制推薦

国公立大学の場合、共通テストを課す場合と課さない場合があります。

### ◇総合型選抜

学習意欲や大学への適性、個性・能力など、受験生の可能性を評価する選抜方法です。

「大学入学者選抜実施要項」で「総合型選抜における基礎学力の状況を把握すること」としているため、総合型選抜でも基礎学力の把握をする大学が増えています。

学校推薦型選抜との違いは、学校長等の推薦が必要か否かという点です。多くの大学は総合型選抜には学校長等の推薦の必要はありません。

入学選抜において「外部検定試験」（例えば、英検やGTECなど）のスコアや級を利用する大学が増加しています。利用方法は各大学に任されているため、自分が受験予定の大学ではどの検定試験が利用できるのか確認しておく必要があります。